

# 緑の相談所だより

{ 6. 7月号 ~1992.5.31 ~ 発行・編集 旭川市緑の相談所 }

夏まであともう一步! 遊歩道のあちこちでも花が咲いています。ちょっと疲れたら木のイスで、ランチをしてはいかがですか? 緑の相談所の温室も花まっさかり。花や木のご相談も受けています。

休館日→月曜日(祝祭日は次の日)  
時 間→午前9:00~午後5:00

## 挿木, 接木, 剪定 について

日 時……6月28日(日)  
午後1~3時

講 師……旭川市緑の相談所相談員  
小 島 博 昭

内 容……◎挿木, 接木の実技  
◎イチイの剪定  
◎ツツジ類の切りつめ剪定

7/26(日)親子で楽しんでいただき、講習会を予定しています。

□◆□◆

- ◆ 参加料は無料です。定員になりしだい締め切らせていただきます。お申込・お問い合わせは、
- 旭川市緑の相談所まで
- ◆ ☎65-5553

◆□◆□◆講◆□◆日◆□◆△◆□◆□◆

## 山野草の育て方

日 時……6月14日(日)  
午後1~3時

講 師……北海道山草趣味の会会長  
村 田 悠 治

定員▶60名

## 【展示会のお知らせ】

### 初夏の山草展

日 時……6月13日(土) 14日(日)  
午前9時~午後5時

場 所……旭川市緑の相談所ロビー

- ・ 観葉植物夏の手入れ
- ・ シクラメンの夏越し
- ・ その他

日 時……7月12日(日)  
午後1~3時

講 師……旭川市緑の相談所相談員  
村 田 正 一

定員▶50名

温室NOW 温室の中で目をみはるのが、ソテツだとおもいます。  
あの黄色いのはなんですか?とよく聞かれます。今回はソテツにスポット!

今、温室のソテツ *Cycas revoluta* Thunb は幹の高さが1.2 メートルになります。ソテツ科はすべて雄と雌がわかかれており、温室で見られる黄色いのは雄花で長さは50~70センチになります。

日本では九州南部から沖縄県が産地で種子や幹に多量のでんぷんが含まれ、南国では救荒食糧として利用されてきました。幹には毒が含まれており水洗いもしないと中毒になります。北海道では、盛り花用・盆栽などで見られます。

## 季節の花ことば

ばら・・・愛



バラは愛と喜び、美と純潔を示す花として、花嫁の持つ花とされています。またギリシャ神話では、美のアフロディテの象徴としてさまざまな伝説があります。

ネロは天井からバラの雨を降らせ、ナポレオンはジョセフィーヌのために花びらを敷きつめたともいわれます。

六月の第三日曜日は父の日ですが、この日に贈る花はバラの花となっています。(花ことばファンクラブより転載)

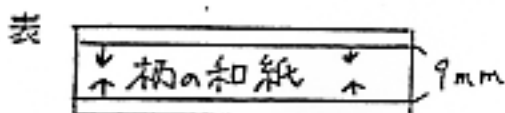
## 箸置きを自分で作ってみよう

毎日使うものだから、いつも気持ちを新鮮にと箸置きに挑戦!  
食卓がいっそう明るくなると思います。

### 材料

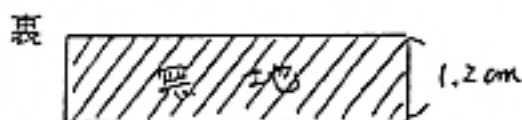
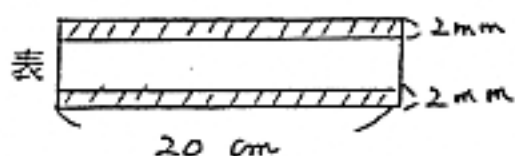
ダンボール箱に使う業務用の堅いひも。  
和紙。のり(木工用ボンド)。

- ② すきまの間に柄の和紙を貼る。  
たて→9mm



### 作り方

- ① ひもに無地の和紙をのりで貼る。  
よこ→20cm たて→1.6cm



- ③ 結ぶ。そして結び目にそれぞれ折り曲げて入れる。

- ④ ニスをぬって、乾かせば出来上がり。



## 『夏の気象と植物』 旭川市緑の相談所相談員 村田 正一

6月の北海道は最良の季節です。前半はリラ冷えもあるので低温に弱いものは気をつけます。植物の成育が目立ちいろいろの開花が続きます。7月は病虫害を防ぎましょう。

### 球根の掘りあげ

チューリップ、クロッカス、球根アイリス、スイセンなど、葉が黄色味を帯びてきたら茎葉を付けたまま掘りあげ陰干しします。乾いたら枯れた茎葉を取り除き、網袋のような風通しのいいものに入れて保存します。9月中下旬ころ植えつけます。

掘り上げる時、色別にきちんと始末しないと色が分からなくなりますから気を付けましょう。

チューリップの花や葉に斑模様が入ったらウイルス病です。直らないし移りますから抜き取って焼き捨ててください。

### ジャーマンアイリスの株分け

ジャーマンアイリスの花が終わったら株分けすることが出来ます。株の縁にある新しい芽を切り取って植え付けます。植え付ける時、球根の背中が少し地面の上に出るように浅く植え、ぐらつかないように棒を立てて葉を結びつけておきましょう。植え付けの時、水肥料はやらないでください。水がつくと腐れやすいので水はけのいい所に土を少し盛り上げるようにして植えるといいでしょう。

### 観葉植物などの植え替え

熱帯性、亜熱帯性植物の植え替え適期です。ベンジャミン、ポインセチヤ、スパシフィラムその他暑い所に育つものは気温が高い6月7月が植え替えや株分けの適期です。根の土を3分の1～半分くらい落として新しい土で植えます。植え土は赤玉土に腐葉土かピートモスを3分の1くらい混ぜると大体の種類は育ちます。

植え替え、株分けしたものは最低2週間くらいたってから薄い水肥料を与えます。

### シンビジュームの肥培

シンビジュームは何より日光が好きです。1週間くらい日光に慣らしてからできるだけ直射日光に当ててください。水は毎朝たっぷりとやります。肥料は週1回の水肥と、油粕骨粉を丸めた玉肥を4～5個鉢の上に置き肥します。置き肥は1ヵ月たったら新しいものと取り替えます。秋までの間にしっかりと太らせないと花芽ができません。

暑くなるとハダニがつきます。葉の裏が白っぽくかすれたようになりますから葉の裏に殺ダニ剤をかけてください。

### シクラメンの夏越し

シクラメンは暑さに弱い植物です。気温が高くなると半休眠または休眠状態になって夏を越します。まず黄色っぽくなった葉は元から引き抜いておきます。球根の頭についている枯れた芽もピンセットで丁寧に取り除いてください。ときどき殺菌剤を球根の頭にかけて病気を防ぎます。

葉が沢山ついて元気のいい株は日陰の風通しのいい涼しい所で、乾き気味にしながらも水もやりごく薄い水肥もやっておきます。葉がほとんどなくなった株やすっかり無くなったものはかなり弱っています。球根をおさえてみて柔らかくなっていたら腐っていますから捨てます。固ければ葉を全部取り除き、乾いたまま雨の当たらない日陰の涼しい所で夏を越してください。お盆が過ぎ、涼しくなると元気を回復して球根の頭に小さな芽が見えてきます。8月下旬から9月上旬にかけて1回りか2まわり大きな鉢に新しい土で植え替えます。赤玉土と腐葉土を半々に混ぜたものでいいでしょう。

◆さし木とは◆

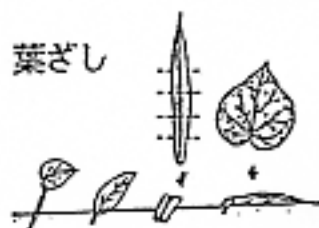
さし木はふやそうとする植物の葉、茎、根などの植物の一部をつかって、根、芽を出させ独立した個体をつくり出す繁殖方法です。

◆さし木の種類◆ <葉ざしと芽葉ざし>

【葉ざし】 葉ざしには一枚の葉をさす全葉ざしと、一枚の葉に葉柄をつけてさす葉柄ざし、あるいは一枚の葉をいくつかに分けてさす葉片ざしなどがあります。

【枝ざし】 枝ざしは地上茎をさし穂に用いる場合をいい、さし穂につかう枝の状態でいろいろな方法があります。

- イ) 葉ざし → 1~2年生草本、宿根草などのさし木。
  - ロ) 緑枝ざし → 春から伸びた新梢が硬くなる前までの枝を使うさし木。
  - ハ) 半熟枝ざし → 緑枝ざしにくらべて、茎が硬くなったものを使うさし木。
  - ニ) 熟枝ざし → 完全に成熟し硬くなった枝を使ってのさし木。
- 【根ざし】 根ざしは、根伏せともいわれ根の一部を切り取って芽、根を発生させる方法。



◆さし穂の大きさによるもの◆

- 【芽ざし】 4~5cmくらいの茎に一芽をつけてさす方法。
- 【長梢、短梢ざし】 50cm~1mくらいの長いさし穂を使う場合を長梢ざし、通常さし穂(15~20cm)の場合を短梢ざし。
- 【長幹、短幹ざし】 幹ざしともいわれ、太い枝や幹を使うさし木方法で長さによって長幹ざし、短幹ざし。

<天ざしと管ざし>



◆枝の取り方によるもの◆

一本の枝からの穂木の取り方によって天ざし、頂ざし(心ざし)、頂芽のない部分をさす管ざしなどがあります。

◆さし穂の切り方◆

